

未来まちづくりニュース

柏ビレジ自治会
未来まちづくり部・柏ビレジ
グランドデザイン推進プロジェクト
〒277-0813 千葉県柏市大室1211-48

10



6月30日(日)、柏ビレジ自治会館前 柏ビレジ運動広場にて開催した「柏ビレジコミュニティバス出発式」

TOPICS

- 会長メッセージ
- 実現までの道のり～プロジェクトの足跡①～⑤
- 柏ビレジコミュニティバス出発式①～④
- 柏ビレジコミュニティバス～7月度の利用実績
- メディア掲載情報
- 柏ビレジコミュニティバスご利用にあたって
- 柏ビレジコミュニティバス～支援企業様一覧

■ 会長メッセージ

便利なまちづくり

柏ビレジ自治会長 シュビンドラー 千恵子

■ 挑戦を越えて～柏ビレジコミュニティバス実現までの道のり



出発式でご挨拶

皆様、こんにちは。

2024年6月30日、足掛け5年、このように出発式を迎えることができ、本当に嬉しく感無量でございます。柏ビレジは、まちが出来て42年、高齢化率約60%、柏市に11ヵ所ある公共交通空白不便地域の一つに指定されています。2019年、会長を拝命した際に、はじめて交通アクセス問題を知りました。たしかに、柏ビレジはどの駅からも遠く、もともと不便な地域。超高齢化に伴い、自家用車に代わる交通手段を確立することは待たなでした。

■ 素人によるコミュニティバスへの挑戦

きっかけは、東武バスとの交渉中に聞いた、「平均乗車数5名です」の一言。そのような状況下で増便は望めないと思い、「では、自分達で走らせていいですか？」他力本願はやめて自分達で走らせることになりました。2020年6月、住民約1500戸に対し、交通アクセスアンケートを実施したところ、「予約型相乗りタクシー」の希望が21%、「コミュニティバス」の希望者が約56%でした。この結果を受け、2022年3月、コミュニティバスの運行実現に向けて17名によるタスクチームを編成、交通素人の私達が運行ルートやバス停、時刻表等をアビコ西武観光(株)様の監修の下で作りました。そして、2022年11月、1ヵ月間の実証実験を実施しました。こうして、コロナ渦の中、コツコツと準備を進めて参りました。

■ 資金集めに奔走

そして、2023年8月、柏市議の桜田様、小松様にバックアップいただき、柏市に「公共交通空白不便地域におけるコミュニティバス運行実現に向けての要望書」を提出しました。自治会の予算は極力使わず乗車券収入による運行を原則に、それから5ヵ月間、住民や近隣町会への説明会を開催し、回数券・年間パスポートへの事前申し込みや支援金をお願いしました。それでも目標金額までの資金が不足していたため、企業への協賛金のお願いに奔走しました。そして、ついに2024年初頭、運行実現のメドが立ったところで市から補助金の決定をいただき、実現できることになりました。



柏市の星土木部長(当時)に要望書を提出

■ 多くの皆様のご支援・ご協力で実現

アンケート実施から実現まで4年かかりましたが、住民の皆様のご理解とご協力、太田市長の温かいご理解とリーダーシップ、柏市交通政策課様、桜田様、小松様のご支援を賜り、また、ご自身の事業に関係なく住民でないにもかかわらず、この活動にご共鳴いただき、沢山の協賛金をくださった29の企業、店舗、事業主様には本当に、本当に心より感謝しております。この「無謀」ともいえる自治会運営によるコミュニティバスの運行に向けて、粉骨砕身、地道な活動を続けてくださいました交通タスクの大野リーダーをはじめメンバーの皆様によって、このような結果に導けたことは我が自治会の誇りでございます。関係各位の多大なるご支援と、住民を中心としたタスクメンバーによる意地と根性で実現できたと思っています。

これから「SDGs住み続けられるまちづくり」の一翼を担い、持続可能な運行に尽力して参ります。どうか皆様、温かい目で引き続き応援のほど、よろしく願いいたします。

■ コミュニティバス実現までの道のり～プロジェクトの足跡①

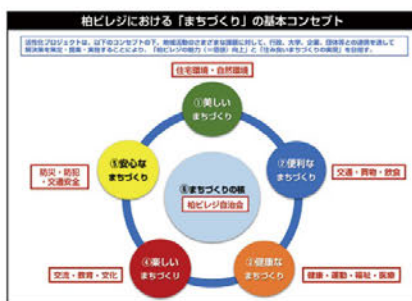
便利なまちづくり

柏ビレジ グランドデザイン推進プロジェクトリーダー
交通タスクリーダー 大野 達雄

プロジェクトの足跡①～プロジェクトチーム立ち上げ前の流れ

2019年に柏ビレジ自治会に新設された「未来まちづくり部」の下に、「柏ビレジ活性化プロジェクト」が位置づけられ、それから足掛け5年。柏ビレジの最大の課題のひとつ「交通対策」の立ち上げ時から、本格的に取り組むようになった2022年のプロジェクトチームの編成を経てコミュニティバスの運行実現までの約3年間にわたるプロジェクトの足跡を写真とともにご紹介します。当初、高齢化が進む柏ビレジ(その後、近隣地域にも対象を拡大)において交通アクセスに困っている方々のために少しでも役立ちたいとの思いでスタートした「柏ビレジコミュニティバス・プロジェクト」に参画、長期間にわたり、献身的かつ果敢に挑戦してくださった仲間たちとの足跡を振り返ります。

2019年 柏ビレジ活性化プロジェクトの設置～柏ビレジにおける横断的・中長期的課題への取り組みを開始
(12月)



「活性化プロジェクト」は「柏ビレジを住みたいまちにするための重視点」として、各種アンケート調査結果などをもとに、左図のような「まちづくり」の基本コンセプト図を作成し、これをもとに活動を開始しました。

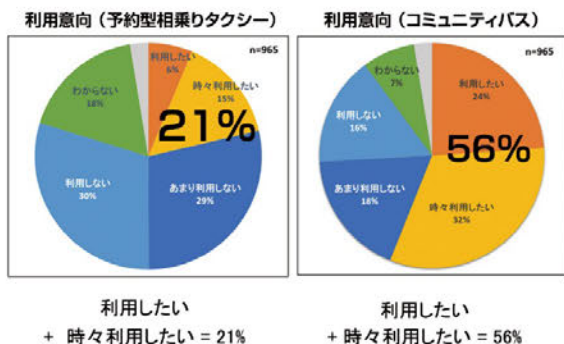
当時、柏ビレジ内にあった東急ストアの撤退(2001年)や路線バスの廃止・減便などに加え、高齢化が進み、車を手放す高齢者層が確実に増加する近い将来、私たちにとって身近な買物や交通アクセスの改善が今後の大きな課題になることが予想されました。交通対策は、「便利なまちづくり」の一環として、柏ビレジにおける最優先課題の一つとして取り組んできたものです。

2020年 交通アクセスニーズ調査の実施
(3月)

「柏ビレジ活性化プロジェクト」では、「公共交通対策」の具体案として、①「既存バス路線のルート変更案や新設案の提示」の他、②「予約制・相乗りを前提にしたタクシーを使った「デマンド交通」の実施」、③「マイクロバスを利用した「コミュニティバス」による運行」、④「病院やスーパー等の「企業バスの有効活用」」、⑤「電動小型低速車」の導入、⑥「自動運転車」への挑戦、の6つの分野から実現の可能性が高く、利便性が期待できる①～③の交通手段に絞り、集中的に取り組んできました。当案をもとに柏市交通政策課と打ち合わせし、最初に取り組んだことは、(自治会が主体的に取り組むことを前提に)「住民の交通アクセスに関するニーズ調査を実施する」ことでした。



2020年 交通アクセス住民アンケート調査を実施
(6月)



2020年6月、柏ビレジの全住民を対象に交通アンケート調査を実施(回答率約64%)。アンケートでは住民の交通手段や公共交通の利用状況、路線バスを利用しない理由の他、「予約型相乗りタクシー」(デマンド交通)と「コミュニティバス」の利用意向を調査。その結果、「予約型相乗りタクシー」の利用意向(利用したい+時々利用したい)の割合が全体で21%に対し、「コミュニティバス」は全体で56%となり、住民の多くが「コミュニティバス」の運行を望んでいることが分かりました。

2021年 柏ビレジグランドデザイン(GD)の策定と交通不便解消に向けて本格始動
(5月)

GDとは柏ビレジが目指すべき将来像とその実現に向けた中長期全体構想のこと。柏ビレジの課題の一つが交通不便を解消するための「コミュニティバスの導入」です。次ページから、その具体的な取り組みの概要をご紹介します。

■ コミュニティバス実現までの道のり～プロジェクトの足跡②

便利なまちづくり

■ プロジェクトの足跡②～プロジェクトチームの発足とワークショップ

■ プロジェクトチームの発足～プロジェクトメンバー



【2022年3月】 柏ビレジ自治会の役員、柏ビレジ未来まちづくり協議会代表、住民代表、**運行事業者2名**を交えた17名のプロジェクトメンバーで発足。運行事業者(アピコ西武観光株式会社)を除く全員がバスや交通分野の素人でした。

「柏ビレジ未来まちづくり協議会」からは、ビレジサポート、新樹会、はなみずき、建築緑地協定委員会(当時)の各諸団体からメンバーの皆さんを推薦いただきました。

(敬称略/前列左から) シュピンドラー 千恵子、明渡 晃、佐藤 宗弘、岡田 小央里、松尾 貴子、高柳 キミエ、横堀 正枝
 (後列右から): 蔵 武紘、高橋 秀彰、寺田 雅年、角谷 昭彦、森田 幸次、柴田 豊、梶 陽介、米原 文明、松本 彰、大野 達雄
 (円内): 宮崎 泰雄:メンバーの交代に伴い、2022年11月から新メンバーとして参画

■ 交通分科会のワークショップ



【2022年3月～】プロジェクト立ち上げ時から間を置かず、柏ビレジ内の公共交通空白不便地域をできるだけカバーする運行ルートやバス停などの基本案を固めるためタスクメンバーによるワークショップを何回も実施しました。買物をはじめ通勤、通学、通院など、住民が必要とする、住民に喜ばれるルートはどのようなルートなのか。運行事業者による的確なアドバイスをいただきながら、既存の路線バスルートとできるだけ重複しないルートを何度も意見交換しながら、絞り込み、実証実験に向けての基本案を作成しました。

■ コミュニティバス実現までの道のり～プロジェクトの足跡③

便利なまちづくり

■ プロジェクトの足跡③～各種事前準備の実施

■ バス事前体験ツアーを実施



【2022年9月】 実証実験に向けた運行計画をより適正なものにするため住民の方々を対象に「柏ビレジコミュニティバス」事前体験ツアーを実施(計2回)。柏ビレジ自治会館での概要説明の後、約2時間かけて複数の「運行コース」や「バス停」などを参加者の視点から確認いただきました。その後、利用者アンケートを実施することで、コースやバス停設置場所の適否、料金設定などについての数々の貴重なご意見、ご提言をいただくことができました。

■ イベントでのプロモーション



【2022年10月】 世界的な気候変動を踏まえ、猛暑を避けるため、従来までの「柏ビレジ夏祭り」に代わり開催された柏ビレジ初の「オクトーバーフェスト」(写真)。交通分科会として初出店し、コミュニティバスのPRとともに、実証実験に向けた回数券の販売を行ないましたが、特に、近隣地域の方々が大変関心を持って立ち寄られたのが印象的でした。

■ 実証実験時のバス停看板



【2022年11月】 バス停看板は当初、路線バスのようなスタンド式のバス停を想定していましたが、コストや法律面などの制約により断念。代替案として、担当チーム毎に個人宅の家主様のご了解とご協力を得て、実証実験期間中、赤レンガの壁面などにバス停看板を貼らせていただきました。(写真)

■ コミュニティバスの実証実験



【2022年11月】 「コミュニティバスの実証実験期間は半年から1年間が一般的」(国土交通省)なようです。しかし、柏ビレジの場合、予算の関係で1か月間のみの短縮実験で実施しました。実証実験では住民ニーズをもとに、柏の葉キャンパス駅、ヨークマート、モラージュ柏の3コースを設定、運行しました。

■ 交通分科会の定例会議



【2023年1月】 毎月1回(約2時間)、柏ビレジ自治会館1Fホールを会場に開催している「交通分科会」の定例会議風景(写真)。この日、シュピンドラー会長を通して再度、出席いただいた桜田市議(左列奥)から「本日の会議の様子を柏市との打ち合わせに反映し、柏ビレジが計画しているコミュニティバスの運行実現を後押ししたい」旨の力強いメッセージをいただきました。

このようなプロジェクトの情報共有や意思決定のための定例会議の開催件数は延べ30回を数えました。

■ ポスティングの準備作業



【2023年12月】 第1次募集の事前申込結果が厳しい状況下、「もし目標額が集まらなかったら中止した方が良い」という意見も出る中、このままではコミュニティバスの運行実現が困難になる危機感を全員が共有。急遽、一層の販促強化のため柏ビレジ近隣地域に対する師走のポスティングを敢行しました。事務局のサポートもいただきながら、メンバー全員交代で大量の配布資料の仕分け、封入等の準備作業を行いました(写真)。メンバーは就労中の方、主婦で子育て中の方、会社経営者、自治会役員など個々の環境は違っても誰もが多忙の身でした。また、多士済々のメンバーで構成される全員がボランティアとして無報酬で、地域の課題に長期にわたり心血を注ぎ、バスの運行を実現していただいたことに、改めて、心から感謝申し上げます。

■ コミュニティバス実現までの道のり～プロジェクトの足跡④

便利なまちづくり

プロジェクトの足跡④～本格運行に向けて

■ 事前予約申込者を対象にした説明会&乗車券販売会



柏ビレジ自治会館ホールを会場に計6回にわたり開催した説明会&乗車券販売会

【2024年6月】7月のコミュニティバスの運行開始に先立ち事前予約申込者の皆様を対象に開催したコミュニティバス説明会及び乗車券販売会には多くの皆様が参加されました。会長挨拶に続き、本格運行時にご提供するサービスとしてスマホ上でバスの運行状況などが分かる「みえバス」システムの使い方を説明。その後、乗車券販売テーブル毎に分かれて、現金と引換に乗車券を購入いただきました。

乗車券(回数券、年間パスポート)を事前に申し込まれた方々や、今は車を所有しているため当面はコミュニティバスを使用することはないが、近い将来、高齢化に伴い免許返納する予定の方々からも、支援金とともに「コミュニティバスの運行実現に賛同します。バスを実現してくれてありがとう！」との感謝のメッセージを多数いただきました。

■ 本格運行に向けての最終準備

<バス停設置作業>



【2024年6月～7月】本格運行を前に、柏市交通政策課様やメンバーの協力の下、計15か所のバス停に路面シートやガードパイプ、スタンドなど合計21点のバス停看板を設置しました。今回、柏市から提供いただいた使用しなくなった既存のバスやタクシースタンドの再利用はコスト削減に効果的でした。

市側では今回のバス停設置にあたり、法律上問題はないか、安全かなどを含め、申請手続き等の面に至るまできめ細かくご支援いただきました。

<各種印刷物の作成>



【2024年6月】上記「説明会&乗車券販売会」に合わせ、配布物の準備を行ないました。特に、配布物は印刷だけは外注したものの、デザイン・制作についてはタスクメンバーの中でスキルのある方々にご協力いただき、内製化によりコスト削減に努めました。また、目的地の一つ「モラージュ柏」様からも、利用者のために「フロアガイド」をご提供いただくとともに、駐車場内にバス停を設置させていただくなどご協力をいただきました。

プロジェクトの足跡⑤～プロジェクトに参加して

■ メンバーのひとこと (2023年度のメンバーを中心に紹介/50音順/敬称略)



今回のコミュニティバス・プロジェクトに参加されたメンバーの皆さんから寄せられたメッセージです。

岡田 小央里 「高齢者のための脚を！」を立ち上がったバスですが、維持するためには、とにかく利用客数を増やす以外にありません。子供の習い事の通いや、雨の日の学生の帰宅等、多くの世代でバスを利用させていただきたいと切に願います。交通分科会として今後も、沿線の店舗に配達サービスの有無の確認と併せて、バス利用者への割引サービス実施のお願い、広告主の開拓、利用者確保のための販促事業など、ますます活発な活動をして参ります。

角谷 昭彦 7月2日(火)、柏ビレジ念願のコミュニティバスが運行を始めました。これからはバスの運行を存続させるためにも、皆様に移動の自由を提供し地域の活性化の促進につながっていきますように。そして、このバスを利用いただければ自宅の車に乗る必要が無く、地域の環境負担軽減のお役にも立っていきます。今後も柏ビレジ及び近隣の皆様と協力しながら、微力ではございますが、運営とサービス向上を目指してまいります。

柴田 豊 4月以降、「モラージュ柏エリア」と「柏たなか駅エリア」を中心に、コミュニティバスの乗車券を呈示したお客様に、値引き、ポイント、粗品など何らかの「タイアップ特典」を提供していただける「タイアップ協力店」集めを担当しました。はじめての試みでしたが、協力店情報は紙だけでなく、Webでも無料で紹介するなど、利用者の皆様からの注目度も高いため、今後は更に充実した「バス利用者限定特典ガイド」にしていきたいと考えています。

高橋 秀彰 高齢化の進展が著しい柏ビレジにとって極めて重要な課題である住民の足の確保に向けた「交通分科会」に新樹会を代表して参加しました。住民の手によるコミュニティバスの運行計画には、様々な意見がありました。その中で多くの方々の協力と理解を得ながら、種々の課題を乗り越えて、本格運行を実現できたことに深い感慨を覚えます。近年、公共交通機関を取巻く問題が深刻化する中で、今回の取組は大きな意味があり、新樹会としてもその役割に期待しています。

高柳 キミエ 交通不便地域解消のために長年の目標であった住民主体によるコミュニティバスの運行が、各方面の方々のご支援・ご協力により実現することになり、ありがとうございました。これは初めの一步であり、住民の外出の足の足となり、気軽に利用していただけるよう持続させることが、今後の課題となります。利用する方が増えると、バスの運行本数も増え、より便利に利用できると思います。お食事、お買物、運動、入浴、カラオケなどに、ぜひご利用ください。

寺田 雅年 私のプロジェクトチームでの活動で最も印象に残っているのは、コミュニティバスの実証実験のためにバス停候補近隣のご自宅を訪問し、停留所設置のお願いとバス停看板設置の理解を取り付けたことです。また、本格運行に向け、必要となる費用を確保するため、商店街の各店舗様に支援金のお願いに回りましたが思う様に集められなかったのが心残りです。最後に会長を始めチームの皆様のご尽力により本格運行が実現出来たことを誇りに思っております。

松本 彰 コミュニティバスの運行実現には多くの課題がありましたが、バス運行に係る理解者や支援者の確保が最大のテーマでした。それは、バスの運行には多額の費用が必要で、バス利用者の運賃収入だけでは全額を賄えないからです。そこで、自治会に深い関係の深い各種法人や柏ビレジ住民の皆様に対し、実現の必要性を強く訴えました。最終的には、多くのご支援をいただくことができて、運行実現に繋がりました。支援者の皆様には改めて御礼申し上げます。

宮崎 泰雄 収支計画を担当しました。「入るを量りて出ざるを制す」の例えのごとく、何回も収支計画の見直しをする中で、収支の差額が少しずつ縮まり、最後にはその差が無くなり、コミュニティバスの運行開始にめどが立ちバンザイ！タスクフォース・メンバー皆さんの新しい知恵と努力の賜物と思います。コミュニティバスは、やっと、走り始めましたが、走り続けることを祈念します。

米原 文明 自治会の「自治」と国の「平和」という言葉には、一つだけ共通点があるようです。人任せでそれを願うだけでは実現しないという点です。「バスが不便なら自分達の手で作ればいい！」コミュニティバスは自治会の「自治」と、住民の「自主性」で実現しました。正に自治活動の神髄です。私は1年半ほどの参加でしたが、完走されたプロジェクトチーム諸氏の努力には頭が下がる思いです。交通の利便性が高まれば、柏ビレジの価値は上がると信じます。

■ 挑戦を越えて～柏ビレジコミュニティバス出発式①

便利なまちづくり

■ 柏ビレジコミュニティバス出発式①



「出発式」のフィナーレには、ご来賓の皆様による出発を祝うテープカットが行われ、会場に集まった参加者全員から大きな拍手が贈られました

■ 出発式～ご来賓の方々の声(1)



OKUDA
Etsuo

柏市副市長 奥田 諤夫 様

このたびは、「柏ビレジコミュニティバス」の運行開始、誠にありがとうございます。6月30日(日)にお招きいただいた出発式に出席するため、柏駅からバスに乗り、柏ビレジのバス停から会場まで街並みを眺めつつ歩いていたのですが、端正で美しい住宅街がきちんと守られ、育まれていることをこの目で見つ、柏ビレジのまちを支えておられる自治会の皆様の、まちづくりにかける想いをあらためて実感しました。

そして、熱意と実行力ある自治会の方々が力を合わせ、運行事業者との調整や近隣商業施設への協力依頼など、様々な難しい課題を団結して乗り越え、コミュニティバスの運行に結実したこと、心より敬意を表します。

この重要な公共交通が、地域の皆様の「乗って守る・使って育てる」という意識と行動により、将来にわたり持続することを期待するとともに、外出・交流機会の増加を通じて、柏ビレジのまちがますます活気にあふれていくことを祈念しております。

柏市議会議員 桜田 慎太郎 様

柏ビレジ自治会では、独自にコミュニティバスを走らせようと計画してきました。日常の移動手段の確保といった課題に非常に熱心に積極的に取り組んでいる柏ビレジ自治会さんの活動を私も何とかサポートし実現したいと思い、実証実験の準備段階から携わり協議を重ねて参りました。そして、自治会役員の皆様と小松議員と一緒に、市に要望書を提出させていただき、事業を実現することができました。

このコミュニティバスが地域にお住いの皆様の足となり、お出掛けしやすくなり、買い物や、趣味や、旅行と、自分の人生が豊かになるよう、ご利用していただけたら幸いです。



SAKURADA
Shintarou



KOMATSU
Sachiko

柏市議会議員 小松 さちこ 様

柏ビレジコミュニティバス運行実現大変におめでとうございます。町会長をはじめ、未来まちづくり協議会・交通分科会のタスクメンバーの並々ならぬご努力と自治会の方々のご協力があって実現できたことと思います。

これから大切なことは、柏ビレジコミュニティバスを皆様のお力で育てていくことです。同じバスで待ち合わせをして、楽しい時間を共有し、楽しい思い出を一杯作ってください。柏ビレジコミュニティバスは、地域の大切な財産です。皆んなで育てて行きましょう！

■ 挑戦を越えて～柏ビレジコミュニティバス出発式②

便利なまちづくり

■ 柏ビレジコミュニティバス出発式②

■ 出発式～ご来賓の方々の声(2)

前ページに引き続き、出発式のテープカットに参加されたご来賓の皆様からのメッセージをご紹介します。

NAKAMORI
Hidetaki

柏商工会議所副会頭 ナノテック株式会社 代表取締役社長 中森 秀樹 様

柏ビレジコミュニティバス運行開始おめでとうございます。
ナノテック株式会社はプラズマ技術を活用して、自然に優しいフュージョンエネルギーや環境負荷低減の開発を進めています。この企画に支援させていただいたのは技術的以外のアプローチである人に対する「やさしさ」を運ぶ柏ビレジコミュニティバスの存在を知ることができたからです。

バス運行は素敵なお試みだと感じます。なぜなら自然豊かな柏ビレジ水辺公園を運行経路に持ち、人々を自然に優しいビオトープまで運んでくれる魅力的なバスだからです。是非多くの方々に自然の「やさしさ」の中へ運んであげてください。

SAKURADA
Teiko

桜田建設株式会社 代表取締役 櫻田 禎子 様

柏ビレジコミュニティバス出発式に出席させていただき、大変光栄でございました。自治会運営で、初めて挑戦するコミュニティバスの開発は、柏市内はもちろんのこと、国内でも珍しく交通手段の一つとして大いに活躍されることを期待しています。柏たなか駅周辺は、戸建住宅やマンションが急増していますが、まだまだ商業施設が少ないです。

運行ルートとしても、柏たなか駅、柏ビレジ内、松葉町のショッピングセンター、松ヶ崎の商業施設へと循環するバスは、大いに地域に貢献することでしょう。私たち地元企業も応援して参ります。地域にお住いの皆様にとって、有意義な生活をお過ごしいただけますことを祈念いたします。

MATSUMARU
Yukie

豊四季造園土木株式会社 取締役営業部長 松丸 由紀枝 様

このたびの「柏ビレジコミュニティバス」の運行開始、誠におめでとうございます。
誰もが、手軽に利用できる身近な交通手段が実現したことで、より多くの柏ビレジ内外の皆様が、今後、柏ビレジの美しい公園などを訪れる機会が増えるものと考えています。

私も豊四季造園土木は、64ヘクタールもある広大で美しい柏ビレジの緑を生かした環境維持に少しでもサポートさせていただくことで、コミュニティバスによる足の確保とともに、つねに求められるよきパートナーとして地域や社会に貢献してまいります。

SPINDLER
Chieko

柏ビレジ自治会長 ナノテックシュピンドラー株式会社 代表取締役社長 シュピンドラー 千恵子

柏ビレジのスローガン「世代の垣根を超えた優しいまちづくり」とは、あらゆる人々に対する思いやり溢れるまちづくりです。家の近くまで来てくれるバスは、交通が不自由な方々に対するビレジの思いやり。優しいバスの運転手さんと、1人でもお出かけができるプライベートな空間、疲れたらオレンジベンチでひとやすみ。そんな安心でホッと温かい気分になる手作りなまち。

運転できない・しない人の買物や通院、小学生以上の塾や習い事通い、車を置いてお酒を飲みに行きたいなど、あらゆるシーンで活躍するビレジバスを末永く愛してください。

柏ビレジコミュニティバス出発式③



美しい緑の柏ビレジ運動広場とマイクロバスを背に式典最後にご来賓の皆様と撮影した集合写真



試乗バスは関係者に見送られて出発



式典会場には住民を含め約60名の皆様が参加。式典の最後にどなたでも参加できる試乗会が行なわれた

■ 出発式～ご来賓の方々の声(3)

アーバンプロテクト株式会社 代表取締役 清水 武史 様

柏ビレジコミュニティバスの運行開始、誠にありがとうございます。シュピンドラー会長の熱意と関係の皆様との長期にわたる献身的な取組みの賜物だと思います。マスコミでも取り上げられ順調なスタートとなりましたが、今後の長期運行継続が重要です。地域の皆様とともに私共も微力ながらご支援を続けてまいりたいと思います。

アビコ西武観光株式会社 代表取締役 梶 陽介 様

柏ビレジコミュニティバスの運行開始を心よりお祝い申し上げます。私たちアビコ西武観光株式会社がこのプロジェクトに関わられたことを大変光栄に思います。地域の皆様の生活が一層便利になることを願い、安全で快適な運行を心掛けてまいります。これからも、皆様に愛されるサービスを提供していく所存です。ご理解とご支援を引き続きお願い申し上げます。

筑波大学 システム情報系 准教授 藤井 さやか 様

コミュニティバスの運用開始、おめでとうございます。住民の皆様の悲願であった移動手段の確保、導入までには大変なご苦労があったことと推察します。様々な障害を粘り強く一つ一つ乗り越えられてのバス運行の実現、柏ビレジの底力に感動しています。柏ビレジのますますのご発展を祈念しております。

株式会社東急コミュニティー マネージャー 今井 章二 様

この度は、コミュニティバスの本格導入おめでとうございます。長年の課題であった地域の皆様の交通不便解消のため、利便性はもとより、多様化する需要に応える格好の手段になることを信じております。自治会長様はじめ関係者の皆様のご苦労も感じながら、柏ビレジ訪問の際は、ぜひ利用させていただきます。

■ 挑戦を越えて～柏ビレジコミュニティバス出発式④/7月度の利用実績

便利なまちづくり

■ 柏ビレジコミュニティバス出発式④

会場から一周約30分間の周回コースを2回試走。柏ビレジコミュニティバスの運行の一端を皆様にご体験いただきました。



住宅街を試走するコミュニティバス。バス前部の黄色の表示が目印です



出発式で試走した運行バスルート図



試乗を終えられた奥田副市長や小松市議、住民の皆様

■ 出発式～ご来賓の方々の声(4)

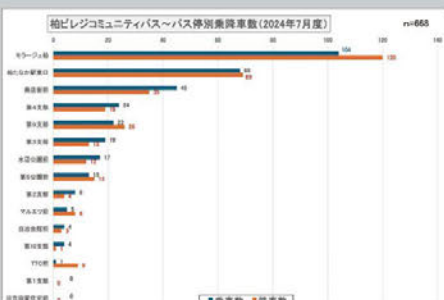
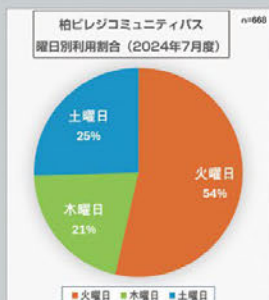
田中地区ふるさと協議会 会長 富澤 一郎 様

コミュニティバス運行おめでとうございます。私は大室町会長を兼務していることもあり運行準備会議には初回から参加していましたが、当初より多くの課題があり正直申しますと厳しい状況と感じていました。しかし、準備会議を重ねる度に大きな壁を乗り越えていった皆さんのスキルと実行力に感服いたしました。現在の国が抱えている高齢化社会に一石を投じた本件は他の地域にも良い意味で影響を与えることでしょう。

一般社団法人 ゆりかで 代表理事 笠島 由美子 様

住民が安心して住み続けるための「コミュニティバス」が運行されたことにお慶び申し上げます。当法人を利用される地域外の方にとりましても心強い交通手段の一つです。式典では、住民の期待、多くの支援者や団体の協力、タスクチームの粘り強い活動で実現したことが実感されました。今後さらに発展されることを期待いたします。

■ 柏ビレジコミュニティバス 7月度の利用実績



■ 7月2日(火)から本格運行がスタートした柏ビレジコミュニティバスの1ヵ月間の乗降車数をご参考までにお知らせします。当バスは、柏たなか駅(東口)から、柏ビレジ経由、モラージュ柏までのルートを、毎週 火・木・土(※除く、祝祭日)運行しています。

- <1ヵ月間の利用実績>は、以下のとおりです。
- 1ヵ月間の運行日は、計13日。
 - 1ヵ月間の総乗車人数は、計668人。(※乗車1回あたりの乗車人数を集計したものです)
 - 利用者の多い曜日は、火曜日(全体の54%)
 - 乗降車数の最も多いバス停は、「モラージュ柏」(全体の34%)
 - 「柏たなか駅東口」が、乗降者数の第2位に、「商店街前」(柏ビレジ商店街)が第3位にランクされた。
- まだまだ利用者は少ないですが、利用実績などのデータをもとに更なる利用増への取り組みとともに、運行ルートやバス停、時刻表等の見直しを図り、利便性の向上に努めてまいります。

※乗降者データは、アビコ西武観光株式会社様よりご提供いただいております。(柏ビレジ自治会・コミュニティバス担当)

メディア掲載情報



2024年6月29日
「読売新聞」に掲載されました。
 柏ビレジにコミュニティバス 地域の足 自治会が運行

新聞

2024年6月30日 18時45分～
「NHK」ニュースで放映されました。
 千葉 柏 自治会運営コミュニティバスの出発式

TV

2024年7月2日
「千葉日報」に掲載されました。
 高齢化進む住宅地「柏ビレジ」自治会コミバス2日出発 公共交通空白改善へ 最寄り駅と週3日2ルート

新聞

2024年7月4日 18時及び21時30分～
「千葉テレビ」で放映されました。
 自治主体で「住民の足」確保。コミュニティバスの運行スタート

TV

2024年7月5日 18時10分～
「NHK」首都圏ネットワークで放映されました。
 「柏ビレジ自治会」コミュニティバス運行開始! 路線バス減便で地域交通はどうなる? 千葉

TV

2024年7月23日(※2024年7月30日まで配信)
「NHK」ネットラジオ「らじるらじる」で配信されました。
 路線バス大幅減の住宅街 自治会が自ら運行へ

ラジオ

2024年8月22日
 タウン情報誌**「朝日れすかPLUS」**に掲載されました。
 愛される「地域の足」に～「柏ビレジ」自治会がコミュニティバス運行

情報誌

2024年8月～9月
 他地域の**行政機関**や**ケーブルテレビ**による取材が予定されています。

その他

「柏ビレジコミュニティバス」ご利用にあたって……より便利に!

どなたでも、「回数券」をバスの中や「ファミリーマート(柏花野井店)」でも買えるようになりました!

(2024年8月現在)

<回数券の購入場所>

①バス内での回数券購入について

- * 2024年8月1日(木)から、バス内でも回数券を購入いただけるようになりました。
- * 乗車の際に、運転手までお声がけいただき、**現金**でお支払いください。
- * 現金で、回数券を**セット単位**(1セット1,100円/税込=1枚100円券 x 10枚綴り)でご購入ください。
- * 2セット以上のまとめ買いは可能ですが、**バラ売りはできません**。予めご了承ください。
- * バス内での回数券等のお取り扱いにあたっては、安全運行のため、運転手の負担軽減に努めています。
- * お釣りのないように、できるだけ事前に小銭をご用意ください。
- * 両替ができないため、5千円札や1万円札など高額紙幣での購入はご遠慮ください。

②コンビニでの回数券購入について

- * 柏ビレジ内「ファミリーマート柏花野井店」(24時間営業)でも、9/1(日)から回数券を購入いただけます。

<領収書について>

- * バス内やファミリーマート柏花野井店では、領収書を発行しておりません。
- * 領収書が必要な場合は、お手数ですが、以下の柏ビレジ自治会・事務局にてご購入ください。

<年間バスポートについて>

- * 「年間バスポート」は、1年間乗り放題でご利用いただける大変お得な定期券です。
- * 「ご本人用」(22,000円/税込)と「ご夫婦用」(33,000円/税込)があり、柏ビレジ自治会・事務局にてお買い求めいただけます。

回数券
 【料金】1セット=1,100円/税込

[運賃] 全区间共通:1回の乗車につき
 大人(高校生以上)
 100円券 x 2枚 (220円/税込)
 子ども(小中学生)
 100円券 x 1枚 (110円/税込)

お問い合わせ先: 柏ビレジ自治会・事務局～コミュニティバス担当

■ 電話: (04)7132-1925 (受付: 月・火・木・金/9:30～13:00 土/9:30～12:00 休み: 水・日・祝祭日)

■ 住所: 〒277-0813 柏市大室1311-48 ■ E-mail: jichikai@kashiwa-village.com ■ URL: https://www.kashiwa-village.com



柏ビレジコミュニティバス～支援企業様一覧



私たちは 柏ビレジコミュニティバス を応援します!

ご支援いただいた企業・団体・店舗様

皆さまからの温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

柏ビレジ自治会



豊かな未来の夢を育む

桜田建設株式会社



ナノテック株式会社

ナノテックシュピンドラー 株式会社

We serve people in real!

Spindler



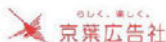
豊四季造園土木 株式会社



ルピナスハウス 株式会社



アーバンプロテクト 株式会社



株式会社 京葉広告社



アビコ西武観光 株式会社



株式会社 プラスワン

公益財団法人
吉田記念テニス研修センター

株式会社 東急コミュニティー

株式会社 北辰水産

有限会社 かわの電器

三国産業商会 有限会社

社会福祉法人 千草会 花の井保育園

タカシマ歯科医院

ファミリーマート 柏花野井店

花野井クリニック

一般社団法人 ゆりかご

エネクト 株式会社

有限会社 野口煙火店

NPO法人 ビレジサポート

株式会社 イワキ ASA北柏

柏ビレジクリニック

株式会社 岡田電機水道

有限会社 サンセイモーター

昭和セレモニー 柏儀式殿

萬味商事 株式会社

フィットネストレーナー 工藤 拓馬